

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月10日

上場会社名 株式会社 竹内製作所
 コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 明雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 神山 輝夫

TEL 0268-81-1100

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	11,659	2.0	270	△40.6	1,287	130.3	973	94.6
25年2月期第1四半期	11,434	30.4	456	—	559	201.4	500	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 1,557百万円 (54.6%) 25年2月期第1四半期 1,007百万円 (355.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	59.58	—
25年2月期第1四半期	30.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	49,631	31,981	64.4
25年2月期	51,051	30,554	59.9

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 31,981百万円 25年2月期 30,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,100	6.8	1,210	△5.8	1,590	30.0	1,360	30.5	83.27
通期	46,800	13.6	2,620	86.4	3,000	3.3	2,130	△35.9	130.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は[添付資料]3ページ「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	16,333,000 株	25年2月期	16,333,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	1,135 株	25年2月期	1,135 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	16,331,865 株	25年2月期1Q	16,331,865 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第1四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)の経済は、米国におきましては、住宅価格が安定的な上昇を示すようになったことと住宅在庫の過剰感が薄れてきたことにより、住宅市場は全般的に回復傾向で推移しました。景気も、個人消費の加速と在庫投資のプラス転化などにより総じて堅調に推移いたしました。欧州におきましては、債務問題の長期化により先行きに対する不透明感が高まる中、個人消費や設備投資が引き続き低調に推移し、景気低迷の状況は依然継続しております。

このような環境の中で当社グループは、米国におきましてはミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第1四半期連結累計期間の販売台数は、需要が増加したことにより前年同期と比較して増加しました。一方欧州におきましては、ミニショベル及び油圧ショベルの当第1四半期連結累計期間の販売台数は、需要が減少したことにより前年同期と比較して減少しました。

この結果、当第1四半期連結期間の販売台数はほぼ横ばいとなり、売上高は116億5千9百万円(前年同期比2.0%増加)になりました。

利益面につきましては、米国において第2四半期以降の販売促進を図るために値引を行うことに伴い値引の引き当て計上を行ったこと及び未実現利益の計上により、営業利益は2億7千万円(前年同期比40.6%減少)となりました。経常利益は、為替差益が9億4千9百万円(前年同期は、1千万円の為替差益)発生したことなどにより、12億8千7百万円(前年同期比130.3%増加)となりました。四半期純利益は、税金費用を3億2千4百万円計上したことにより、9億7千3百万円(前年同期比94.6%増加)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

日本では、欧州向けミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は43億4千3百万円(前年同期比16.3%減少)、セグメント利益は円安による外貨建売上の利益率改善などにより8億8千5百万円(前年同期比70.7%増加)となりました。

② 米国

米国では、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したことにより、売上高は42億9千万円(前年同期比40.9%増加)、セグメント損失は第2四半期以降の販売促進を図るために値引を行うことに伴い、第1四半期末のディーラー在庫に対して値引の引き当て計上を行ったことにより、1億3千2百万円(前年同期は、7千9百万円のセグメント利益)となりました。

③ 英国

英国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は14億2千2百万円(前年同期比4.4%減少)、セグメント利益は4千2百万円(前年同期比44.5%減少)となりました。

④ フランス

フランスでは、油圧ショベルの販売台数が増加したことにより、売上高は6億4千1百万円(前年同期比6.4%増加)、セグメント損失は当社からの仕入価格の値上などにより1百万円(前年同期は、2千8百万円のセグメント利益)となりました。

⑤ 中国

中国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が減少したことにより、売上高は9億6千1百万円(前年同期比13.5%減少)、セグメント利益は貸倒引当金繰入額などの販売費及び一般管理費が減少したことなどにより5千3百万円(前年同期は、1千6百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億2千万円減少し、496億3千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億7千4百万円増加しましたが、商社を通じて行っていた連結子会社3社との取引を直接行なうようになったことから受取手形及び売掛金が12億5千7百万円減少及びたな卸資産が10億9千2百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ28億4千7百万円減少し、176億4千9百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少と同じ理由により支払手形及び買掛金が24億8千万円減少及び短期借入金7億1千9百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ14億2千6百万円増加し、319億8千1百万円となりました。これは主に、四半期純利益などにより利益剰余金が8億4千2百万円増加及び為替換算調整勘定が5億7千9百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年4月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想における外国為替レートは、1米ドル=90円、1英ポンド=140円、1ユーロ=120円、1人民元=14.7円を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正に伴い、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,800,531	4,475,313
受取手形及び売掛金	24,061,769	22,804,607
商品及び製品	11,297,157	10,412,866
仕掛品	1,220,259	1,162,382
原材料及び貯蔵品	2,158,300	2,007,677
繰延税金資産	507,612	956,771
その他	679,150	843,729
貸倒引当金	△697,771	△806,404
流動資産合計	43,027,009	41,856,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,276,294	3,337,049
機械装置及び運搬具(純額)	864,047	858,746
土地	2,206,964	2,237,000
その他(純額)	391,197	350,168
有形固定資産合計	6,738,504	6,782,965
無形固定資産	379,770	490,061
投資その他の資産		
その他	1,044,646	649,410
貸倒引当金	△138,548	△148,332
投資その他の資産合計	906,097	501,077
固定資産合計	8,024,373	7,774,104
資産合計	51,051,382	49,631,048

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,031,397	13,550,901
短期借入金	1,609,480	890,000
未払法人税等	56,065	289,236
賞与引当金	133,500	262,658
製品保証引当金	454,316	507,567
その他	1,552,078	1,536,322
流動負債合計	19,836,837	17,036,686
固定負債		
退職給付引当金	122,361	113,556
役員退職慰労引当金	233,912	236,561
債務保証損失引当金	152,389	116,653
その他	150,913	145,937
固定負債合計	659,577	612,708
負債合計	20,496,414	17,649,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632,948	3,632,948
資本剰余金	3,631,665	3,631,665
利益剰余金	25,533,369	26,375,728
自己株式	△3,250	△3,250
株主資本合計	32,794,732	33,637,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,272	9,668
為替換算調整勘定	△2,245,037	△1,665,105
その他の包括利益累計額合計	△2,239,764	△1,655,437
純資産合計	30,554,968	31,981,653
負債純資産合計	51,051,382	49,631,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	11,434,852	11,659,529
売上原価	9,734,381	10,169,469
売上総利益	1,700,471	1,490,060
販売費及び一般管理費		
運搬費	346,295	318,468
製品保証引当金繰入額	73,739	90,509
貸倒引当金繰入額	55,135	9,401
役員報酬	35,897	45,257
給料及び手当	255,635	283,489
賞与引当金繰入額	14,661	31,226
退職給付費用	13,806	8,630
役員退職慰労引当金繰入額	2,345	2,648
その他	446,888	429,534
販売費及び一般管理費合計	1,244,404	1,219,167
営業利益	456,067	270,892
営業外収益		
受取利息	4,579	3,214
補助金収入	28,571	—
為替差益	10,613	949,865
デリバティブ評価益	30,157	45,204
その他	41,656	25,658
営業外収益合計	115,577	1,023,942
営業外費用		
支払利息	5,715	3,736
貸与資産減価償却費	4,899	3,304
その他	1,920	427
営業外費用合計	12,535	7,468
経常利益	559,109	1,287,366
特別利益		
固定資産売却益	1,101	10,401
特別利益合計	1,101	10,401
特別損失		
固定資産売却損	171	—
特別損失合計	171	—
税金等調整前四半期純利益	560,040	1,297,768
法人税、住民税及び事業税	59,508	332,510
法人税等調整額	517	△7,755
法人税等合計	60,026	324,755
少数株主損益調整前四半期純利益	500,013	973,013
四半期純利益	500,013	973,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	500,013	973,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,924	4,395
為替換算調整勘定	526,385	579,931
その他の包括利益合計	507,460	584,327
四半期包括利益	1,007,474	1,557,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,007,474	1,557,340
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	5,186,364	3,044,709	1,488,333	603,107	1,112,338	11,434,852	—	11,434,852
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,314,689	—	30	—	47,704	5,362,424	△5,362,424	—
計	10,501,053	3,044,709	1,488,363	603,107	1,160,042	16,797,276	△5,362,424	11,434,852
セグメント利益又は損失(△)	518,447	79,653	76,795	28,900	△16,899	686,898	△230,831	456,067

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△230,831千円には、セグメント間取引消去△97,590千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,241千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	4,343,005	4,290,761	1,422,174	641,656	961,930	11,659,529	—	11,659,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,724,537	—	5,141	9	96,701	5,826,388	△5,826,388	—
計	10,067,543	4,290,761	1,427,316	641,665	1,058,631	17,485,918	△5,826,388	11,659,529
セグメント利益又は損失(△)	885,159	△132,417	42,653	△1,229	53,125	847,291	△576,398	270,892

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△576,398千円には、セグメント間取引消去△399,814千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△176,584千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。